



大阪プロバスクラブ

会報 第367号

2022年1月17日発行

Monthly Bulletin of

The Probus Club of Osaka

- 例会会場：ホテルモントレ大阪 06-6458-7111
 例会日：(原則) 毎月第2月曜日 12時より14時まで
 ○創立 2001(平成13)年7月9日創立記念式7月16日
 ○スポンサークラブ：箕面千里中央ロータリークラブ
 ○友好クラブ：箕面ロータリークラブ
 ○会長：有竹正巳 ○幹事：西宮富夫 ○事務局：(幹事宅)
 〒563-0022 池田市旭丘 2-6-25 Tel: 090-7496-5096
 ○会報担当：西宮富夫 pxi06603@nifty.com
 ○会報ホームページ：<http://osakapurob.exblog.jp/>
 ○全日本プロバス協議会：<https://www.all-japan-probus.com/>
 会長：古賀靖子(北九州)、副会長：川端崇且(大阪)、島村吉三久(五所川原)、馬場康博(旭川)、田中信昭(東京八王子)、
 幹事長：松本 忠(北九州)
 ○日本のプロバスクラブ・関西 Blog 版
<http://probuscent.exblog.jp/>

11月中旬から12月中旬まで1か月間の更新分(順不同)

クラブ	会報	記事一部
姫路南 (二水会)	会報 第108号	講演「仏の教えの誕生と東への旅」岡田真水氏、4万kmを歩いた男伊能忠敬の「人生二度有り」(その11) 松下秀明記
北九州	つながり 第185号	卓話「1日1杯の味噌汁があなたを守ります」あかざき病院松股孝副院長、同好会報告(美食会、ワインを飲む会)他
神戸北	12月例会 のご案内	移動例会(忘年会：須磨和風荘)、ひとこと(宮森勝会長)他
東京八王子	プロバス だより 第312号	来賓挨拶全日本プロバス協議会古賀靖子会長、「東京八王子2022について」一瀬実行委員長、他
大阪	会報 第365号	20周年記念例会卓話「盲導犬」日本ライトハウス赤川芳子氏、「大阪プロバスクラブ20年の思い出」川土居長慶、他

今回 第368回 新年例会 2022年1月17日(月)
 会場：ホテルモントレ大阪 12:00~14:00

- 大阪プロバスの歌(作詞：渡辺 孟 補詩：田村徳郎)
 ① プロバスクラブへ集まろう 気の合う仲間とお昼時
 元気に歌おう会の歌 第二の人生また楽し
 ② プロバスクラブに集まって 優しく気軽に話そうよ
 見せたい自慢の得意技 遊びのプランもまた楽し
 ③ プロバスクラブに集まれば 高まる奉仕の心意気
 世界に広がる和の願い 明日も愉快地に生き抜こう

- 冬景色(作詞・作曲者とも不詳)
 ① さ霧(ぎり)消ゆる湊江(みなとえ)の
 舟に白し朝の霜(しも)
 ただ水鳥の声はして いまだ覚めず岸の家
 ② 烏(からす)啼(な)きて木に高く
 人は畑に麦を踏む げに小春日ののどけしや
 かえり咲(ざき)の花も見ゆ

前回 第367回 Xmas 例会 2021年12月20日(月)
 会場：ホテルモントレ大阪 16:30~19:30

◎第367回 クリスマス例会

- 司会進行：野村尚子会員
 ○ソング：吉川栄子会員 高儀好男会員 ●雪
 ○お客様紹介(以下敬称略)

元会員 増田昭典 上野昭代 平島 匡 松本俊幸
 山村紗智子

西田会員紹介 野村正勝
 浅山会員紹介 杉原義一 池田弘子
 川端会員紹介 佐藤真鐵
 吉川会員紹介 松山まさみ 高島智子 川畑馨子
 吉田会員紹介 永田慎一 太田光春 藤崎恭典
 山田忠美

ショータイムゲスト

(歌) 安田美穂子 (ピアノ) 川島洋一

- 有竹正巳会長挨拶
 ○幹事報告
 ○委員会報告
 ・広報委員会：
 ①宮田会員のご紹介で摂津 RC 会長に「会報受領のお願い」の件を説明させていただきました。
 ②神戸北 PC の大阪 PC20 周年の祝辞及び尼崎 PC 会報を回覧します。
 ・会計：1月例会で半年分例会費 24,000 円を徴収します。

◎クリスマスパーティ

- 司会進行：浅山紀久子会員
 ○開宴挨拶：親睦委員会副委員長 吉田州伸会員
 ○乾杯：増田昭典元会員
 ○ショータイム(歌) 安田美穂子(ピアノ) 川島洋一
 ○食事タイム
 ○ビンゴゲーム
 ○全員合唱：「今日の日はさようなら」
 ○閉会挨拶：山下恵司副会長

★ショータイム





大阪プロバスクラブクリスマス例会 ホテルモントレ大阪

(2021年12月20日)

〇OH-BOX 宮田鐵夫委員長より4名 3,500円との報告があった。(以下順不同)

★川端崇且会員：11月16日箕面市民ゴルフ大会にてホールインワンをしてみました。

★山村紗智子元会員：樹々を渡る風はコロナ騒ぎをする私達を優しく包んでくれます。メリークリスマス。

★西宮富夫会員：Xmas 例会おめでとうございます。コロナも終息してもらえるとありがたいのですが。

★山下恵司会員：少しですが。

◎近況報告：「小豆島へ行ってきた」蒲生惇子会員

小豆島へ行ってきた。寒霞溪を観光してきた。11月25日26日と二日間友達夫婦と3人で、カーフェリーで行ってきた。烏(カラス)が飛んでいるのを上から見たから、カラスが光って白かったとのこと。

★小豆島の位置 (Google Map より作成)



★小豆島の歴史

(小豆島観光協会【公式】サイトより引用)

小豆島という地名がいつから使われたか明らかでないが、文字として初めて使われたのは日本の最初の書物「古事記」に伊邪那岐(いざなぎ)・伊邪那美(いざなみ)の2神が、日本の大八州(おおやしま)につづいて10番目に「小豆島(あづきじま)」を国生みし、別名を「大野手比売(おおぬでひめ)」というところあり、また日本書紀にも、応神天皇は、皇妃兄媛(えひめ)が吉備の国へ里帰りするに際し難波から出帆する舟を高台から見送りながら瀬戸の島々を望み見て、「阿波旋辞摩(あわじしま)・弥二(いやふた)並び阿豆枳辞摩(あずきじま)・・・」とよんでいる。

その後、「小豆島(しょうどしま)」と呼ぶようになったのは、鎌倉中期頃といわれる。

★寒霞溪 (Wikipedia より)

範囲は東西7キロメートル、南北4キロメートルに及ぶ大渓谷。(中略)『日本書紀』にも記述がある奇勝で、元々は(中略)カンカケの名で呼ばれてきた。これは崩れた崖や絶壁などを指す語であるが、これを元に明治初期の儒学者、藤沢南岳が寒霞溪と命名した。(中略)当地は、大正12年(1923年)3月7日に「神懸山(寒霞溪)」として国の名勝に指定され、また1934年の瀬戸内海国立公園設置の契機となった、大渓谷と海を一望できる景勝地である。

ほか、日本三大渓谷美、日本三大奇勝や日本百景、等に選ばれている。新緑や特に紅葉の季節は多くの観光客で賑わう。

【紅葉の季節】(小豆島観光協会【公式】サイトより)



【新緑の季節】(小豆島観光協会【公式】サイトより)



◎近況報告：「南座へ行ってきた」吉川会員ご友人松山まさみ氏

12月12日南座の吉例顔見世興行へ行ってきた。人間国宝15代片岡仁左衛門の「身替り座禅」を見てきた。12人で行った。帰りは祇園で食事してきたとのこと。



★観劇した演目：身替り座禅(みがわりざぜん)
(歌舞伎演目案内「身替り座禅」より引用)

鬼より怖い山の神、それでも逢いたい花子さん。
悩める右京が思いついたことは…。ご主人の浮気心と、

それに頭を悩ます奥さま…これは、古今東西、変わることがないらしい。時代が移っても、また言葉の通じぬ外国でも、爆笑のうちに受け入れられる人気演目。

【あらすじ】(【日本舞踊】演目辞典より引用)京の近郊に住む大名：山蔭右京は、美濃への旅の際、野上の宿で花子という女性と契りを交わしました。花子は都北白河から「会いたい」と手紙を送ってきます。右京は座禅をする、といて、家来の太郎冠者を身替りとして、花子に会いに行ってしまう。しかし、その作戦は奥方玉の井にすっかり見破られ、右京の帰宅時には、奥方玉の井が太郎冠者の替わりに座禅を組んでいました。そうとは知らない右京は、座禅を組んでいる奥方玉の井に、すべてをしゃべってしまうのでした。激怒した奥方玉の井は、手を合わせて謝りながら逃げる右京に掴みかかり、追回し・・・幕切れとなります。



(画像引用元：歌舞伎演目案内「身替り座禅」より)

★南座の特徴 (Wikipediaより抜粋引用)

出雲阿国が1603年(慶長8年)の春、京市中においてかぶき踊りを披露したことが歌舞伎の起源とされるが、その歌舞伎発祥の地で400年を越えて歌舞伎を上演してきたという意味で、日本最古の歴史と伝統を持つ劇場と言われる。特に毎年11月末日から12月末まで行われる吉例顔見世興行は京都の風物詩となっている。このときには役者の名前を勘亭流で書いた「まねき」と呼ばれる、白木の看板が劇場の入り口上にずらりと並べられることで有名。

★南座の耐震工事 (Wikipediaより抜粋引用)

2015年(平成27年)から耐震診断が行われたが、改正耐震改修促進法の耐震基準を満たしていないことが判明し、劇団前進座の初春公演が終わった2016年(平成28年)1月19日から公演は行われず休館となった。今回の工事計画の設計・施工は大林組が担当したが、1929年(昭和4年)に竣工した建物の建築図面が存在せず、休館を発表して以降、既存の建築を細部まで詳しく調査検証する必要があった。(中略)調査後、2017年(平成29年)4月末までにスケルトン化。

2018年(平成30年)3月より、設備更新工事と内装工事に着手し、「耐震補強大規模改修工事」は、2018年(平成30年)9月28日に工事完了し竣工した。

以上

◎近況報告：「守口市障がい者・高齢者交流会館」平島匡元会員

現在、守口市障がい者・高齢者交流会館の受付事務など会館管理事務をやっている。

会館は京阪土居駅の近くで、国道1号線と間にある。3ヶ月も前から会館利用の申し込みがあり、交流に熱心な人達が多いとのこと。

★交流会館の位置・写真（Google Map より作成）



★守口市障がい者・高齢者交流会館外観



★守口市障がい者・高齢者交流会館の利用（守口市 HP より抜粋引用）

- ・概要：守口市障がい者・高齢者交流会館は障がいのある人、ご家族、障がい者団体、高齢者の方等が、さまざまな行事、学習会、交流会などにご利用いただけます。
- ・対象者：本市在住の障害手帳所持者（身体・精神・療育）及びその介護者、60歳以上の人、その他市長が特に必要と認めたもの。
- ・利用料：無料（3か月前から予約可能）

以上

◎ショータイム：聖歌「ああベツレヘムよ」

（会報担当より：歌った曲を覚えてもらったところ、以下の曲とのこと。特にベツレヘムについて初歩的項目を整理した。）

★ショータイム曲名

1. ひいらぎとつたは
2. クリスマスメドレー（ああベツレヘムよ、まきびと、きよしこの夜）
3. かぞえうた
4. ウォーキング・ウィンター・ワンダーランド
5. The Christmas song

★聖歌「ああベツレヘムよ」について

（うたことば歳時記）より引用

旧約聖書には、救世主、つまりヘブライ語ではメシアはベツレヘムで生まれるとはっきりと預言されていました。（中略）ローマ皇帝が人口調査をせよと勅命を出したため、人々は本籍地に行き登録をすることになった。イエスの父ヨセフと妊娠中のマリアも、住んでいたナザレから本籍地のベツレヘムに上って行った。ベツレヘムは「ダビデの町」と呼ばれていて、かつてダビデ王が建てた町の一つであった。（ヨセフはダビデの末裔の一人であったため、そのダビデの町に本籍があったのであろう）。こうしてベツレヘムに滞在しているとき、イエスが生まれた。（中略）聖書にはメシアはダビデ王の子孫から出現すると言うことがしばしば預言されていて、当時のユダヤ人なら誰もがそれを知っていました。（中略）ですからベツレヘムで救い主が生まれたことを歌うということは、神が預言者のミカを通して語っていた預言が、今こそ成就した、今こそ実現したという喜びの表現です。（中略）この歌は、聖夜のベツレヘム賛歌ではなく、神の預言がベツレヘムに成就したことの賛歌なのです。

★ベツレヘムの位置（Google Map より作成）

ベツレヘム（ヘブライ語で「パンの家」の意）は、ヨルダン川西岸地区南部にあるパレスチナ・ベツレヘム県の県都。2016年の推計人口は3万1799人。ヘブライ語聖書では「ダビデの町」とされ、新約聖書ではイエス・キリストの生誕地とされている。ベツレヘムは海拔約775mに位置し、エルサレムと比べて30mほど高い。エルサレムからは南におよそ10km。（ベツレヘム Wikipedia より）



★キリスト生誕の地【聖誕教会】（Wikipedia より）



以上

次回 第369回 通常例会 2022年2月14日（月）
会場：ホテルモントレ大阪 12:00~14:00